

岐大通 2013

2013 J.League Division2
第25節 アビスパ福岡 戦
7/20(土) 19:00~
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信(岐大通)
7/20号
編集発行:
『岐大通』製作委員会
今号の製作担当:
ささたく & 吉田鑄造

today's guest : アビスパ福岡 2012 J1 9勝 14分 1敗 勝ち点 41:18位

1982年に静岡県藤枝市で結成された『中央防犯サッカー部』は静岡県中西部リーグ3部からスタートして創部からわずか10年で「日本リーグ(JSL)2部」にたどりつく。Jリーグ参入を念頭に『藤枝ブルックス』となった1994年はセレッソ大阪や柏レイソルと熾烈な上位争いを展開(24勝6敗で3位)。翌年に福岡に移転し『福岡ブルックス』としてJFL優勝、J参入を果たすと同時『アビスパ福岡』となる。

参入後は毎年苦戦が続いたが、1998年のJ2創設時に行われた『J1参入決定戦』でもしぶとく生き残り、アビスパのグッズが「落ちない」お守り」として受験生から注目されるまでになった。しかし、ついに200年シーズンを総合15位で終えてJ2降格。以後、2度のJ1昇格とJ2降格を経験する。最高位は2000年のJ1・総合12位。(吉田鑄造)

2013J2 順位表 第2節 勝点、得失点差、得点、失点、 岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	G大阪	50p	+27	49	22	A	H
2	神戸	50p	+19	41	22	A	
3	長崎	45p	+7	29	22	H	
4	千葉	44p	+18	41	23	H	
5	京都	42p	+20	44	24	H	A
6	福岡	37p	+2	24	22	A	
7	栃木	35p	+3	31	28	A	
8	徳島	35p	-2	31	33	H	
9	岡山	34p	+5	25	20	H	
10	山形	33p	+9	45	36	H	
11	松本	33p	+2	25	23	A	
12	水戸	33p	-2	25	27	A	
13	札幌	32p	+2	28	26	A	
14	東京V	32p	+1	28	27	A	
15	横浜FC	31p	-1	23	24	H	
16	愛媛	25p	-10	23	33	A	
17	鳥取	24p	-15	22	37	A	
18	熊本	23p	-16	27	43	H	A
19	富山	22p	-13	20	33	H	
20	北九州	21p	-10	27	37	H	
21	群馬	19p	-16	18	34	H	
22	岐阜	18p	-30	19	49	---	---

ホームでのガンバ大阪、アウェイでの京都サンガF.C.と、上位チームに2連敗した後、アウェイでのロアッソ熊本に引き分けたF C 岐阜。試合開始すぐの失点を、試合終了直前になんとか追いついたという点でも、「最低限の結果」を残せたと考えていいだろう。残念ながら順位は相変わらずの最下位だが、勝ち点1を積み上げて18としたことで、2位群馬(勝ち点19)との差も縮めることができた。少しずつでも勝ち点差を縮め、追いつき、逆転するためにも、この勝ち点1には大きな意味があるだろう。

さて、アウェイ2連戦の後、ホーム長良川に戻ってきて、今節の対戦相手はアビスパ福岡。昨年、J1から降格してクラブ史上最低の18位という成績に終わっていたが、マリヤン・ブシュニク監督の下でチームを再建させ、現在は6位とプレーオフ圏内に入っている上位チームだ。チーム総得点は25点(リーグ16位)とそれほど多くはないが、総失点が22点(リーグ2位タイ)と、安定した守備で勝ち点を稼いでいる。ならば、失点は禁物。特に最近のF C 岐阜は試合の入り方が悪く、序盤に失点していることが多い。まずは、この失点癖を修正することが、試合を制するために何よりも重要だ。#10城後や#1坂田、#16石津といった選手をどうやって岐阜の守備陣が防ぐのか、そして、攻撃陣がアビスパの堅い守備をどうやって攻略するか。厳しい試合になるだろう。

F C 岐阜とアビスパ福岡の通算対戦成績は3勝2分6敗。しかし、アウェイ・レベスタでは3勝1分2敗なのに対し、何故かホームでは0勝1分4敗と分が悪い。ここは何としても、ホーム長良川での初勝利が欲しいところだ。梅雨明けして初のホーム戦。ナイトゲームとはいえ、岐阜特有の蒸し暑い天候で選手たちの消耗も激しい試合になることだろう。しかし、だからこそ「最後までひたむきに走り抜くサッカー」が有効だ。勝利を目指して粘り強く守り、ひたむきに走り、最後には勝つ。そうした『長良川劇場』を、選手たちは僕らに見せてほしい。そして僕らも、選手に走る力を与えるため、精一杯の声援と拍手を送るうじゃないか。

また、7/19(金)から移籍ウインドウが開き、F C 岐阜にも新戦力として、#30F W中村祐輝(東欧のクラブを渡り歩いた、清水ユース出身の26歳)、#32MF ドンヒョン(U-19韓国代表経験のある、豪州強豪チームに在籍していた19歳)、#33F Wヴィンセント・ケイン(U-20ニュージーランド代表経験を持ち、セレッソや鳥取にも在籍していた日本人とのハーフの24歳)の3名が加入した。彼らがチームを活性化させ、後半の巻き返しに貢献してくれることを期待したい。(ささたく)

次回 HomeGame

第28節 ヴィッセル神戸戦

8/11(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

投稿募集!

gdaidohr@hotmail.co.jp

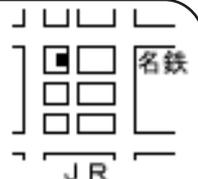
岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998

「いらっしやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)



【第2節】岐阜 2-8G 大阪

なんとか、がんばって持ちこたえてくれていた空もとうとうガマンができずに降り出してしまった雨。いつも通っている人たちはもとより、初めて観戦に訪れた方たちにとっても残念な天気。それでも、野球場を越えテニスコートまで連なった入場待機列なんて初めて目の当たりにしたし、当然入場者数は記録更新。いろんな期待を抱いて集まった観客の前で、天候を味方にしたもう一つの大阪との試合のような劇的な結末を思い浮かべて臨んだのだけれども、まさか始まって10分も立たないうちに唇をキツク噛みしめることになることまでは、さすがに予想していなかった。

アニメ化もされた人気のサッカー漫画の主人公が言った「雨の日にはテクニクのあるヤツが……」云々というセリフを目の当たりにすることになってしまったワケだ。ガンバの選手達も前節までにJ2の全クラブと対戦して、ここまでサクサクと得点できたのは初めてだったんじゃないだろうか？ 8失点はJ2記録の更新（当然、得点も新記録）。点差こそ記録に関係なかったけど、6点差はクラブ史上4回目（広島1-7、セレッソ0-6、湘南1-7）。合わせて10ものゴールが決まる試合なんてめったにないから、訪れた人の記憶には残る試合になったといえるのかもかもしれない。

クラブ史上最多の観客の前、しかもホーム長良川で腰の引けた試合をするわけにはいかない。そんな気合を胸に挑んだからこそ2点を奪えたといえるのかもかもしれない。8点も取られたとはいえ、過去の6点差の敗戦より思いのほかダメージが少ない感じがするのは、前半の内に1点を返し、さらに後半にも追加点を挙げたからだと思う。そして、臍原目に見てあと2点は取れたんじゃないかと思えることが要因かな？ しかし、相手にもあと3~4点決められてもおかしくなかった。2点目の樋口のゴールもつい最近どこかで見たようなDFのチョンボからだったし、8点も取ってかなり気が緩んでいたのかもかもしれない。

せっかくこんなにたくさんの方が観戦に来てくれたのに、こんな試合じゃリピーターにはなってもらえないよな~とガッカリしていたのだけど、聞こえてくる限りじゃそれなりに楽しんでてもらえたようだ。それから、屋台村の各店舗がいつもより潤ってくれたんなら、こんな結果でも救いはあるんだけど……。どうだったのかな？

まあ、ほっといても次の試合はやってくる。この日の試合に懲りずに観戦に訪れた方に「もう一度見に来たい！ 岐阜が勝つのが嬉しい！！」そう思ってもらえるような試合をしてほしい。（ぐん、）

いつものように試合開始の2時間半前から『岐大通』を配り始めたのだけど、“異変”はその時点で感じ取れていた。とても水曜日の試合とは思えないほどの、一般入場のお客さんの列。なんでも、列は陸上競技場の正面から野球場を過ぎてテニスコート付近まで伸びていたらしい。

コンフェデ杯で日本代表として戦っていた遠藤と今野はこの試合からガンバに復帰。攻撃陣では、家長・レアンドロ・宇佐美も不在。これは、もしかしたらもしか出来るんじゃないか？ という淡~い期待は、まさに顔料レベルの細かさにまで砕かれてすり潰されてしまった。

遠藤は中盤の底の位置から岐阜のDFを弄ぶかのように自在にボールを出し入れする。試合後に新井が「中に絞るとサイドを使われ、サイドを意識すると中にスルーパスを通される」と話していたけど、実際のところ遠藤はアジア各国のA代表を手玉に取るほどの選手なのだから、残念だけど岐阜の守備力でどうこうなるというものでもなかったのだろう。

でも、「それにしても8点は取られ過ぎ」と思うかもしれない。もちろん、ベッタベタのペタンコに引いて守れば失点は3点くらいに収まったかもしれない。けど、そうし

たら2点を獲ることは出来なかっただろう。シュートだって何本撃てたか。

8失点のうち7点は納得出来る。ポイントは前半終了間際の4失点目。たしかに主審の笛は非常に紛らわしかった（長良川のスタジアムDもスカパーの中継も『前半終了』だと勘違いした）し、樋口に警告を出しながらガンバのクイックスタートを止めなかった。でも、クイックスタートをしたからといってガンバ側が警告を受けるわけではない。プレーを止められるだけ。そういう部分でもガンバはしたたかだった。（吉田鑄造）

【第2節】京都 2-0岐阜

う~ん、なんで新井を替えたのかな？ 疑問な点はそれだけ。ウチの中じゃ守備で奮闘してたように見えたとし、大作戦要員としても必要な選手。ホント、なんで替えたかね？ あとは何にも。負けるべくして負けた。そんな試合だった。前節があんな結果で、それでも攻める姿勢を見せての敗戦。後半戦の残り2試合で残留のためには、たぶんあと7勝分の勝ち点（21）は少なくとも必要と勝手に予測してて、今回の相手・京都は簡単な相手ではないことは重々承知しているけれども、反攻のためには一戦もムダにできない。そう考えているサポはたくさんいたと思うのだけど、選手からはそういう気持ちが感じられなかったのが残念だ。前半のシュートはゼロ。たぶんCKもなし。攻める気持ちはあったんだろうが、攻め方を忘れてしまったかのような内容。そして、またもや前半で失点。確かに相手選手のシュートは見事なものだったけど、その起因となったのはこちらのイージーミスから。なんとも、もったいない話だ。

水曜日の悪天候での試合からの中三日。コンディションの維持も難しいだろうとは思いますが、それは京都も同じこと。逆に、京都は遠征だったし、岐阜から京都はいちばん近いアウェイでもある。我々の方が優位だともいえるワケだ。双方の環境、ハード面の充実度の差……とかで完結してしまうのは残念だが、ここまで動きに差が出るとそれを受け入れるしかないのかな？ と思ってしまう。サビシイねえ。でも、キツイ言い方だけど、京都戦のような試合をしてたら初めてのお客さんや久しぶりのお客さんは、もう一度見たいとは思わないよ？ それは選手が一番よくわかってると思う。思いたい。

今日よかったのは、群馬や北九州がおつきあいしてくれたこと。おかげで、差が広がらなかった。それだけだ。

（ぐん、）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心之花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

【第2節】熊本1-岐阜

岐阜ほどじゃないが、熊本も暑かった。僕らも相当汗をかいたんだから、選手たちはどれほどだったろう...そんな風に思えた消耗戦だった。

それにしても、最近の点の獲られ方は何とかならんものかね... (溜息)。試合序盤にボールウォッチャーが何人もいて、フリーの選手にやられるとか、試合に集中していないとしか思えないような失点の仕方は、さすがに僕らも心身共に堪えます。折角、最近は攻撃陣も頑張って点を獲っているのに、試合をほぼピハインドで始めるってのは問題がありすぎる。選手たちには猛省をしていただきたいです、ホント。

実際、前半7分に失点して以降、それほど熊本の時間帯は多くなかったように(シュート9本撃たれてるらしいんだけど)感じた。どちらかといえば、岐阜の方がボールを支配していたと思うんだけど...ただ、暑さのせいなのか疲労を抑えるための前へボールを運んで勝負を仕掛ける場面が少なかったように感じた。あるいは、中央が空いているのに、相手が待ちかまえているサイドに流して、狭い場所でのボール回しから(そこで抜ければいいけど)相手に奪われるシーンが多かったように思う。確かに今のスタメンだと、大型FWによるポストプレーって戦術は期待できないのは判るけど、でも中央を裏に抜けるパスは有効なはずで、そうしたチャレンジを積み重ねるから(相手DFが迷うようになるから)サイド攻撃も鋭さを増す...そういった意味では、ボランチが2枚とも下がり目、あるいはトップ下のポジションに誰もいないのが問題なのかな、と僕は思った。

同点の#23MF森安のFKは、正直口アツ選手たちの壁で僕には誰が蹴ったのかも判らなかつた(苦笑)んだけど、見事なゴールでした。GKの裏について壁の隙間を通して、しかもポストに当たってネットを揺らす美しいゴラツソ。これが森安のJ初ゴール、もっとも決めて欲しいよね。試合序盤の「先制パンチ」さえしのげれば、勝てたんじゃないかなあ~、もったいないなあ~とも思うんだけど、アウェイ熊本での勝ち点1。しかも相手は監督解任(ところで他人様の心配してる場合じゃないんだけど、熊本は社長が監督代行までやって大丈夫なの?)直後の試合で相当気合いが入っていただろうから、まあよしとしなければいけないのかな、と思う試合だった。(ささたく)

リーグ戦では久しぶり.....のハズのKKウイング。今は「うまかなよかなスタジアム」。到着した時の人出も、屋台村の雰囲気も「イイ感じになってきたなあ~、熊本」と思った。観客が5千人台だったのが信じられないくらい。ゴール裏もイイ雰囲気に見えた。ここ数年勝ててない同期相手、しかも最近不調で試合直前に監督の解任まで行った順位に近い相手だからこそ、ぜひとも勝ちたかったのだが.....。

なんか、縛りでもあるのかな?「前半のうちに得点を与えてから勝負すること」とか。それとも、失点してからでないと本気が出せない呪いでもかかっているのかな?今日も開始10分もしない内に、だ。しかも、このやられ方って、前節の京都の選手にも言われてた「あの辺のスペースが空くことはわかってた。」ってヤツじゃないですか?攻撃の方は相変わらず仲間に愛情のないパスしか出さないし。受ける方もスペースに走り込めば相手が付いてきて、その分仲間のボール保持者に余裕をプレゼントできるってわかっていると思うんだけどね。

スローインもそう。せっかくのマイボールなのに、ピンチの起点になりかねない。どうして、早めに複数の選手がボールをもらいに行かないんだろ?わざわざ練習しなくても、事前の打ち合わせひとつで済むようなことに思えるのは素人ゆえの浅はかさ?でも、プロの選手ならアイコンタクト

とやらで、事前の打ち合わせなんかなくても、サクッと受けてしっかり攻撃につなげてもらいたいよね。そういうのがあたりまえになってほしいんだけど、ムチャな注文かしらん?

それから、この試合で、新井大作戦はやむをえない。なのに、早めにロングボールを入れないのは何でなのかな?とある場面じゃ、新井にデズまで最前線で張ってるのにボールを上げない。上がらないんじゃないで、必要ないのにボールを後ろで回してる。相手の陣形が整ってる時には、後ろでボールを回すのは常套な作戦だと思うけど、デズが上がってるんだから、こちらのDFは薄いんだって。早めにロングボールを入れて、少なくともシュートで終わらせなきゃいけないように思うんだけどな。

それから、相手が蹴ったロングボールを、余裕があるのにわざわざヘッドで返してイーブンボールにしちゃう場面が散見されるし。仲間に対する優しさとか、見る目をしっかり持ってほしいな。対戦相手からだって学べることはあるはず。

でも、まあ負けなくてよかった。森安はJ初ゴールだよ。おめでとう!FKの直接ゴールは、参入初年度の長良川での山形戦。片桐淳至のゴール以来のハズ。壁の上ではなく、下を狙ったうえでキーパー手前でバウンドさせて、ポストに当てて入れるという(そういうことにしておく)技ありの見事なFK。FKのゴールというのは、笛が鳴って助走があつてという間をのいてのゴールだから、決まった時の興奮はまた格別。こういうゴールがもっと決まると勝利にグッと手繰り寄せられるんだけどな。まあ、福岡戦以降に期待しましょう!(ぐん、)

【ユース】残念ながら連敗

我がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は、7月6日に第7節岐阜工業戦、7月13日に第9節各務原戦が有りました。結果は岐阜工業戦が2対4で、各務原戦が3対4でそれぞれ敗戦となりました。残念ながら両試合とも観戦する事が出来ませんでしたので、伝聞によると各務原戦では一時は0対4と大幅なリードを許してしまいましたが、怒涛の追い上げをしましたが後一步及ばず、非常に残念だったようです。

試合結果が県協会のサイトにアップされていない試合も有りますので、暫定的な手元集計によるとFC岐阜ユースは相変わらずの7位と降格圏内のままです。次節は7月20日(土)に中京高校と対戦します。この試合の後は夏の中断期間となりますので、勝って一区切りを付けたいですね。

FORZA!FC岐阜ユース!!(シュナ)



本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>

